



第5章 デジタル活用の方向性（柱）

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

1 「地域共生社会」に貢献するデジタル

デジタル活用のポイント

地域共生社会の実現に向け、デジタルデバイド対策等を通じて、個人の属性に関わらず、誰もがつながりを持ち、支え合える環境づくりや、地域のまちづくりを担う地域コミュニティの活性化など、「人」中心の社会にあらゆる側面からデジタルを効果的に活用していきます。

2 「地域経済循環社会」に貢献するデジタル

デジタル活用のポイント

地域経済循環社会の実現に向け、地域における魅力や賑わいと「新たな価値」を創出するために、地域経済を支える中小企業等の経営改革による生産性の向上や新たなイノベーションの創出など、デジタルを積極的かつ効果的に活用していきます。

3 「脱炭素社会」に貢献するデジタル

デジタル活用のポイント

脱炭素社会の実現に向け、事業活動等における温室効果ガス排出状況の「見える化」やエネルギーマネジメントの「最適化」による省エネ化、日常生活における積極的な公共交通の利用、場所に捉われない多様な働き方の実践などによる排出ガスの削減など、事業活動や日常生活などあらゆる場面でデジタルを効果的に活用していきます。

4 「まちの基盤 N C C」に貢献するデジタル

デジタル活用のポイント

まちの基盤となるN C Cの実現に向け、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりや、利便性や快適性の高い公共交通ネットワークの構築、データを活用したまちの最適化など、市民生活の質や都市としての価値・活力を高めるために、デジタルを効果的に活用していきます。